

2023 年度 (2023 年 5 月～2024 年 4 月)

# 環境経営レポート

発行；2024 年 11 月 1 日



# NAKANO



株式会社中農製作所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エコアクション21  
認証番号 0000520

## 目次

1. ごあいさつ\_\_ (p. 1)
2. 環境経営方針\_\_ (p. 2)
3. 事業概要\_\_ (p. 3)
4. 環境経営目標とその実績\_\_ (p. 6)
  - 1) 主な環境負荷の状況
  - 2) 環境経営目標と実績
    - ①総労働時間比較係数について
    - ②エネルギー使用量の削減
    - ③水資源の削減、腐敗防止システムによる水使用量削減
    - ④廃棄物の削減と有効利用
    - ⑤グリーン調達推進
    - ⑥製品に関する環境配慮
    - ⑦品質管理システムとの一体的活動による不良品の削減
5. 2023年度の主な環境活動の内容\_\_ (p. 14)
  - 1) 環境経営方針、部門活動発表会
  - 2) 今年度の主な活動内容
    - ①二酸化炭素排出量の削減
    - ②現場改善活動
    - ③コミュニケーション活動
6. 2023年度の環境活動の取り組み結果及び評価\_\_ (p. 19)

「総評」、「代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果」
7. 2024年度環境活動計画\_\_ (p. 20)
8. 環境関連法規制等への違反、訴訟等の有無\_\_ (p. 21)
  - 1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制
  - 2) 環境関連法規制等の遵守状況
9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果\_\_ (p. 22)

「環境マネジメントレビュー記録」の添付

# ごあいさつ

株式会社中農製作所は、精密機械加工 & 組立のエキスパート企業です。  
若い力で急成長を遂げる当社は、東大阪の枠を超え、世界へ飛躍する企業として注目を集めています。

当社は、「ひとつづくり、ものづくり、企業づくり、の一流企業を目指す」という経営理念のもと、日本はもちろん地球規模での社会発展に大きく参画し、人々の生活向上に貢献していきます。さらに、当社の強み（組織力、人材力、技術力など）を把握し、活用することで、業績向上や企業の価値向上に取り組んでおります。

平成 17 年 5 月より新町工場において環境活動を開始して 14 年が経ちました。平成 21 年 10 月には本社を含めた全社的な活動として展開しております。平成 26 年度のベトナムへの進出に伴い、日本だけではなく、海外で働く社員とともに、環境に貢献できる企業づくりを推進して参ります。

そのためには、一人ひとりが環境意識を高め、業務のさまざまな場面で環境に目を向けて取り組んでいくことと、ものづくり企業として社会へ貢献できるよう、更なる自社商品なども検討していく所存です。

今後とも、皆さまの一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

取締役社長 西島大輔

# 環境経営方針

## 《 基本理念 》

株式会社中農製作所は「ひとづくり・ものづくり・企業づくりの一流企業を目指します。」を経営理念のもとに、独創的な企画力・開発力・提案力・実行力のある企業を目指すとともに、自動車部品から産業機械部品の精密切削加工などの企業活動を通じて社員全員が環境保全に積極的に取り組み、地域社会の一員であることを認識し、よりよい社会の構築に努めます。

## 《 環境経営方針 》

地域と地球の環境保全活動に積極的に取り組み、自然と事業活動との共生を自主的に構築する企業を目指す。

## 《 行動指針 》

1. 環境マネジメントシステムを運用し、環境変化の見直しによる継続的改善を推進します。
2. 事業活動が環境に与える影響を考慮し、特に以下の項目について積極的に取り組みます。
  - (1) 省エネルギーによる二酸化炭素排出量の削減 
  - (2) 水使用量の削減 
  - (3) 廃棄物の削減と有効利用 
  - (4) グリーン調達の推進 
  - (5) 環境に配慮した製品の提供 
  - (6) 品質管理システムとの一体的活動による不良廃棄品の削減 
  - (7) 自社商品「小型洗浄機」の開発・販売による持続可能な社会への貢献 
  - (8) 環境経営における課題とチャンスで明確にしたテーマの取り組み 
3. 事業活動に伴い適用される環境に関する法規制や条例、及び同意したその他の要求事項を遵守します。
4. 環境汚染の予防活動を維持・継続し、地域社会との協調を大切にします。
5. 環境活動の取り組状況について定期的に公表します。

制定：2005年 3月21日

改定：2019年 11月 15日

株式会社 中農製作所

取締役社長

西島大輔

## ■ 事業概要

1. 事業所名 株式会社 中農製作所  
 代表者氏名 取締役社長 西島大輔
  
2. 対象事業所 本社、新町工場、サテライトS（洗浄機事業部 倉庫）  
 所在地 【本社】大阪府東大阪市足代北1丁目18番26号  
 【新町工場】大阪府東大阪市新町21番26号  
 【サテライトS】大阪府東大阪市新町21番2号  
 【東京営業所】東京都世田谷区代沢2丁目36番19号301
  
3. 環境管理責任者及び担当者連絡先  
 環境管理責任者 課長 西尾肇 TEL: (072) 981-0969  
 事務局 福井裕之 同上
  
4. 事業活動の内容  
 (1) 自動車用部品、産業機械部品の製造及び組立

### 《加工製品の紹介》



リニアガイド部品

業界	空圧機器
材質	A2017-T3
ロット	50個
備考	11*54*62、M/C加工 平行度0.01 8個多数値取り治具自作



ロボットハンド  
チャック部品

業界	産業用ロボット
材質	A6061-T6
ロット	50個
備考	27*42*63、NCL-M/C加工、 平面度・平行度・直角度・同軸度全て 0.01、 冷却クーラント使用、傷厳禁



ロボットハンド  
チャック部品

業界	産業用ロボット
材質	A6061-T6
ロット	50個
備考	46*69*187、NCL-M/C加工、 平面度・平行度・直角度・同軸度全て 0.01、 スライド部の対称度0.02&幅公差 ±0.005、 冷却クーラント使用、傷厳禁



ガス集積弁部品

業界	半導体製造装置
材質	SUS303
ロット	120個
備考	38*42*163、M/C加工、 内径に154Lの深穴、 シール面は旋盤目(U軸)が必要、 交差穴のバリ無きとシール面傷全数 保証



半導体製造装置部品

業界	半導体製造装置
材質	SUS316
ロット	60個
備考	φ79*21.8、NCL複合加工、 幅4*19.3の深溝あり、 溝径公差±0.0125&面粗Ra0.8 ※カット写真



半導体製造装置部品

業界	半導体製造装置
材質	SUS316
ロット	100個
備考	φ25*21、NCL-M/C加工、 弁座部特殊刃物使用(面粗3.2S)、 交差、交差穴バリ無きと弁座部傷全 数保証、円周上の刻印は切削にて



インペラー部品

業界	自動車
材質	チタン合金
ロット	80個
備考	φ52*28、NCL加工、 内径φ5±0.004特殊工具使用(面粗 Ra0.4)、 振れ公差0.004、内径全数検査



ロボットハンド  
チャック部品

業界	産業用ロボット
材質	A6061-T6
ロット	50個
備考	φ65*22、NCL-M/C加工、 平面度・平行度・同軸度全て0.01、 冷却クーラント使用、傷厳禁

5. 事業の規模

(2024年04月30日現在)

活動規模		2021年度	2022年度	2023年度
売上高 [百万円]		1,169	1,394	1,025
従業員数 [人]	本社	1	1	1
	新町工場	61	74	71
	サテライトS <small>洗淨機事業部 倉庫</small>	6	6	6
	東京営業所	-	1	1
敷地面積 [㎡]		1,051	1,070	1,070

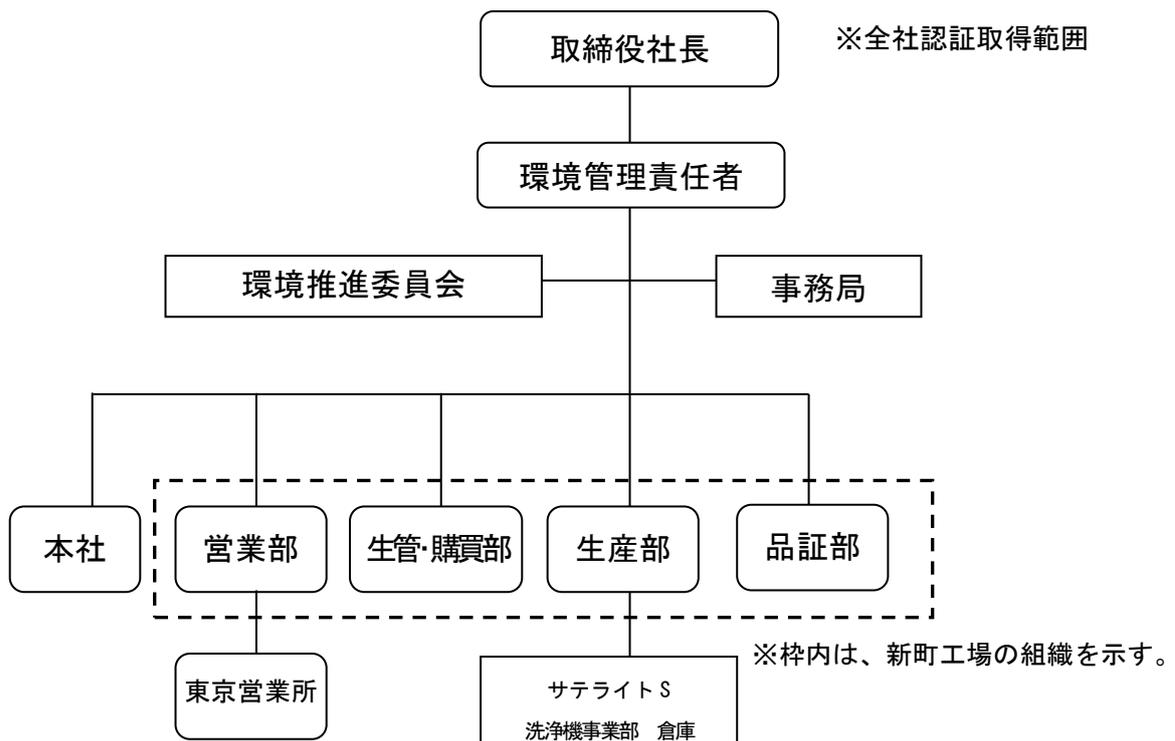
6. 事業年度 5月1日から翌年4月30日まで

7. 本環境活動レポートの対象期間及び発行日

対象期間；2023年5月1日～2024年4月30日

発行日；2024年11月1日

8. 環境保全に関する推進体制



## 役割責任権限表

	役職	役割・責任・権限
統括責任	社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	総務部 管理職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境推進委員会の統括責任者</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境推進委員	各部部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
事務局	品質保証部 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・各種帳票の作成・データの取りまとめ</li> <li>・環境経営目標・計画書案の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開</li> <li>・環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・環境経営目標達成に向けた取組実施</li> <li>・環境関連法規等遵守の取組</li> <li>・緊急事態対応試行訓練の実施・記録</li> <li>・問題点の是正・予防</li> </ul>
各部	部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境マネジメントシステムの実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境目標の活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全従業員	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

\* 環境推進委員会は統括責任者・環境管理責任者・環境推進委員・事務局員で構成する。

## ■ 環境経営目標とその実績

### 1. 主な環境負荷の状況

2021年5月から2024年4月までの負荷状況は次のとおりです。

		単位	2021年度	2022年度	2023年度
<b>1. 事業活動へのインプットに関する項目</b>					
①総エネルギー投入量	購入電力	MJ	8,408,712	8,408,779	6,924,207
	化石燃料	MJ	157,776	315,344	236,880
②総物質投入量	資源投入量	Ton	799	879	687
	循環資源投入量	Ton	2.9※	3.0※	2.7※
③水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	804	928	776
<div style="text-align: center;"> <p>エネルギー投入量構成比(2023年)</p> <p>※_循環資源の内訳は、OA用紙及び新聞紙です。</p> </div>					
<b>2. 事業活動からのアウトプットに関する項目</b>					
④温室効果ガス排出量	電力(事務所・工場)	kg-CO <sub>2</sub>	430,846	448,463	405,027
	ガソリン	kg-CO <sub>2</sub>	10,587	21,160	16,053
	二酸化炭素(合計)	kg-CO <sub>2</sub>	441,432	469,623	421,080
<div style="text-align: center;"> <p>温室効果ガス排出量構成比(2023年)</p> <p>※_電力排出係数：0.575 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) 令和5年 デジタルグリッド</p> </div>					
⑤⑥総製品販売量	製品売上高	百万円	1,169	1,394	1,025
	容器包装使用量	Ton	5	5	5
⑥廃棄物等総排出量	再使用	Ton	0	0	0
	再生利用	Ton	90	98	91
⑦廃棄物最終処分量	最終処分量	Ton	0.8	0.8	0.8
⑧総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	804	789	776

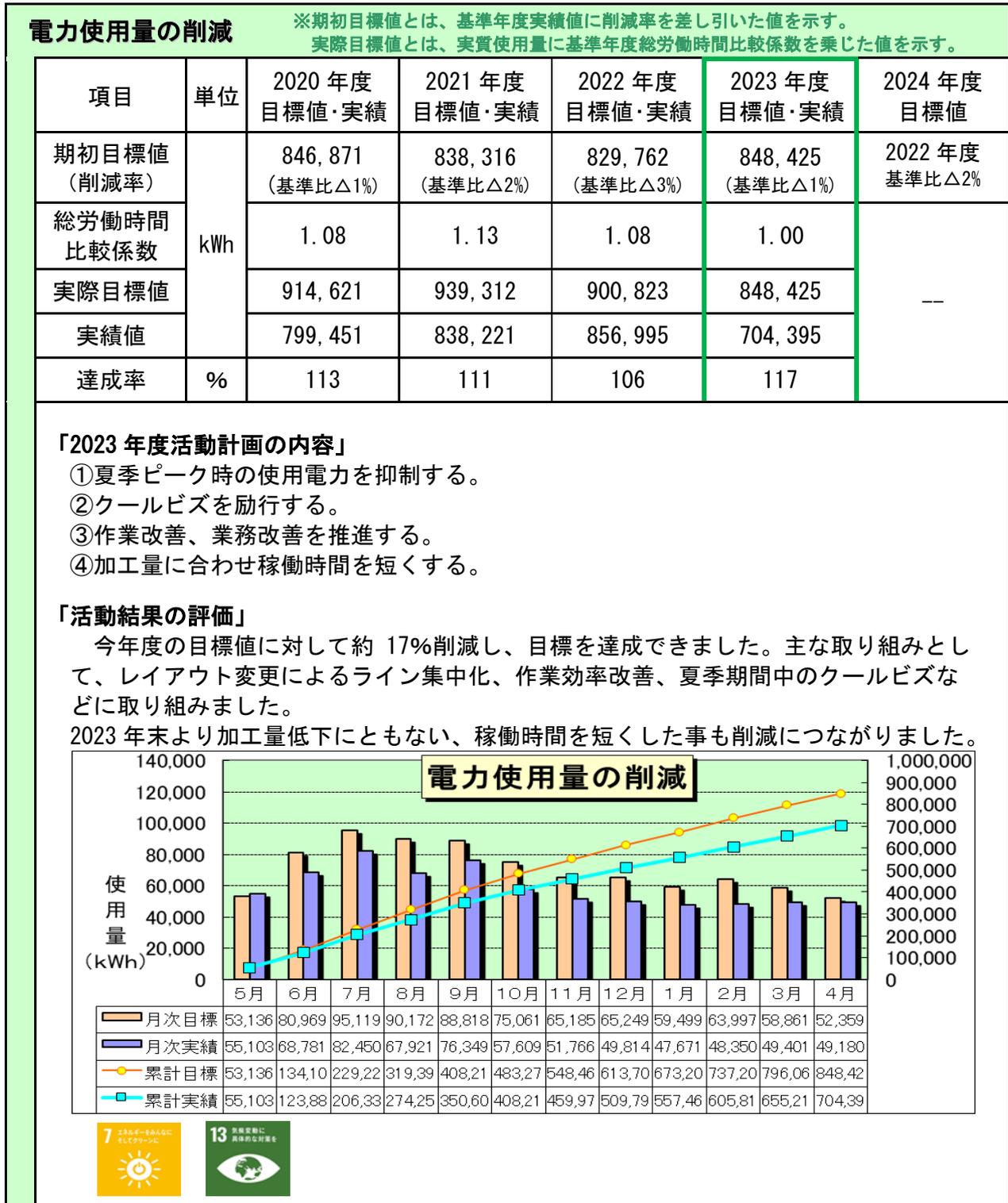
## 2. 環境目標と実績

2022 年度の実績値を基準値として 2023 年度から 2025 年度までに 3%削減を目標に活動をしました。2023 年度の目標値と実績値は下表のとおりです。

### (1) 総労働時間比較係数について

- ◇考え方: “期初目標値”は、基準年度の実績値に基づいて設定していますが、その年の生産活動の増減による影響を受け変動することが考えられる、その変動要因には種々のものが推察されるが、当社は総労働時と売上を勘案し前年を 20%上回る場合目標値の見直しを実施する。2023 年度は目標値の見直しはなかった。
- ◇算出根拠: 社員一人ひとりの勤務時間(タイムカード)を 1ヶ月単位で集計し、全社員の勤務時間を合計して総労働時間とした。
- ◇採用係数: 基準年度との比率を算出して総労働時間係数とする。係数は月次毎の期初目標値に掛け算した値を実際目標値とする。従って、活動結果の評価は、実際目標値で評価する。

### (2) エネルギー使用量の削減



## ガソリン使用量の削減

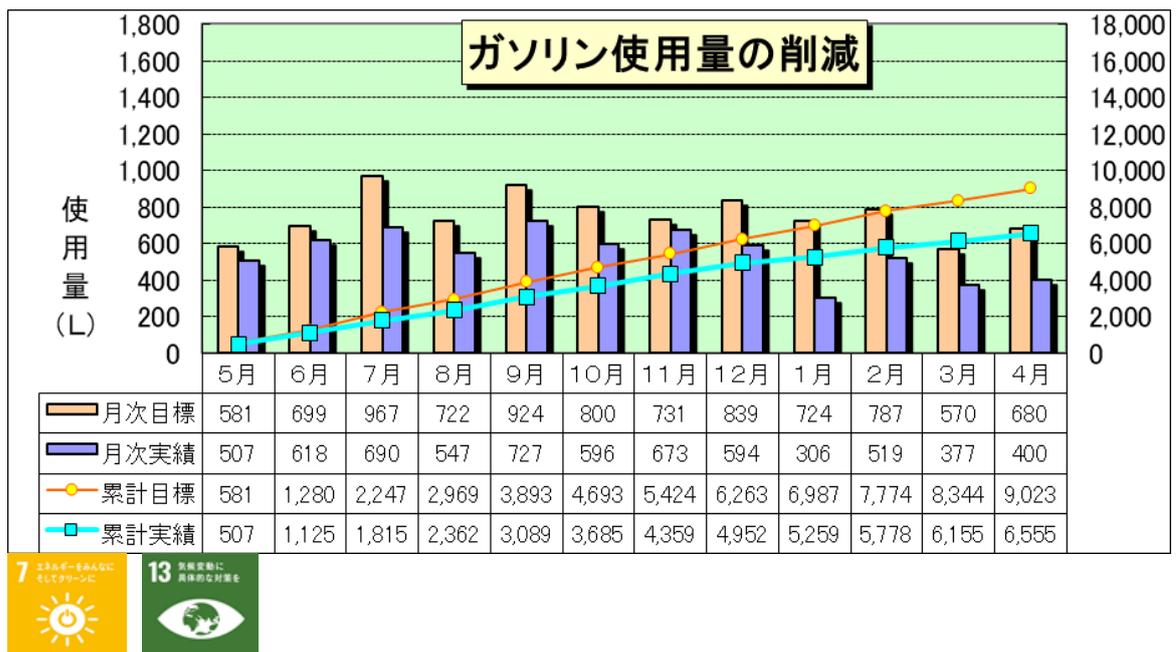
項目	単位	2020 年度 目標値・実績	2021 年度 目標値・実績	2022 年度 目標値・実績	2023 年度 目標値・実績	2024 年度 目標値
期初目標値 (削減率)	L	9,218 (実績値△1%)	9,144 (実績値△2%)	9,051 (実績値△3%)	9,023 (実績値△1%)	2022 年度 実績値△2%
総労働時間 比較係数		1.08	1.13	1.08	1.00	
実際目標値		9,955	10,279	9,864	9,023	---
実績値		7,404	4,560	9,114	6,555	
達成率		%	126	156	108	122

## 「2023 年度活動計画の内容」

- ① 運送距離を短縮する。
- ② 配送ルート効率化する。
- ③ エリア別営業活動の見直し

## 「活動結果の評価」

今年度の目標値に対して約 8% 削減し、目標を達成できました。  
 主な取り組みとしては、遠方への営業訪問及び定期便の運行管理などによるものであり、今後も引き続き実施することとしています。  
 更に、発送計画の簡素化、配送経路の固定化と効率UP、エコドライブの励行などに取り組み、エネルギー効率を考慮した活動を継続して実施します。  
 コロナ禍明けで、出張が解禁され使用量は増加傾向にあります。



(3) 水資源の削減、腐敗防止システムによる水使用量削減

水道使用量の削減

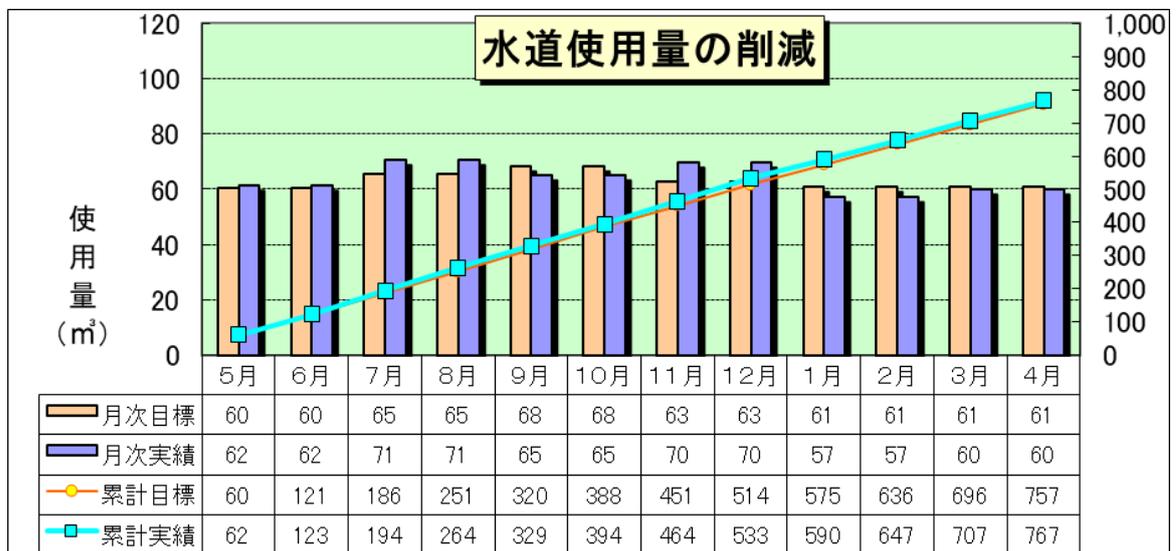
項目	単位	2020 年度 目標値・実績	2021 年度 目標値・実績	2022 年度 目標値・実績	2023 年度 目標値・実績	2024 年度 目標値
期初目標値 (削減率)	m <sup>3</sup>	831 (実績値△1%)	872 (実績値△2%)	872 (実績値△3%)	757 (実績値△1%)	2022 年度 実績値△2%
総労働時間 比較係数		1.08	1.13	1.08	1.08	
実際目標値		898	969	928	757	—
実績値		920	804	765	767	
達成率		%	98	117	118	99

「2023 年度活動計画の内容」

- ①節水活動
  - ・手洗い、トイレ時の節水励行
- ②水溶性切削液の使用量を削減する。
- ③自動車部品の洗浄工程の改善

「活動結果の評価」

今年度の目標値に対して約 1%増加し、目標を未達でした。



(4) 廃棄物の削減と有効利用

一般廃棄物の削減

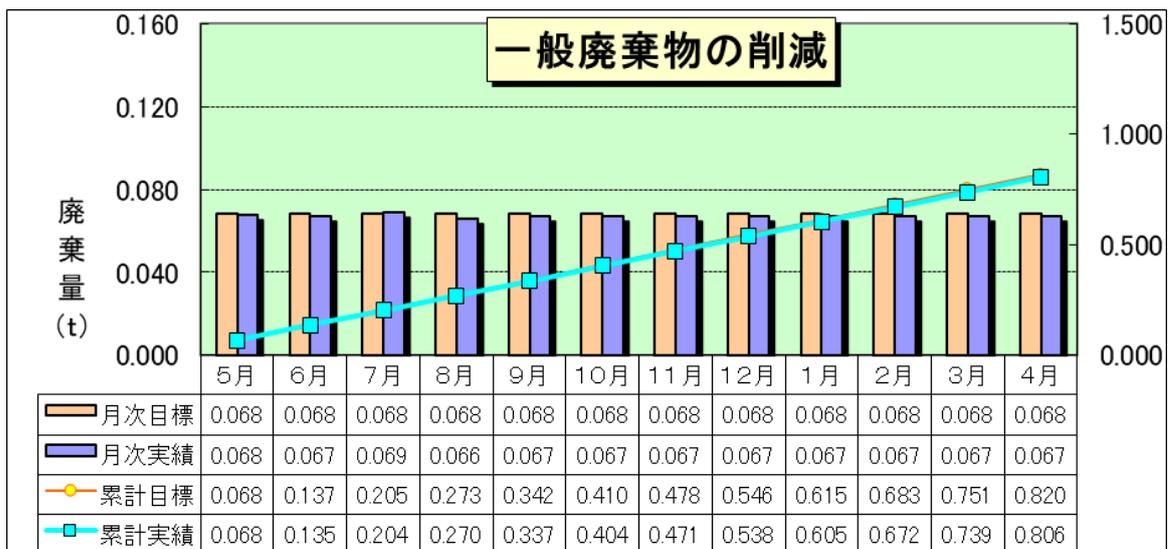
項目	単位	2020 年度 目標値・実績	2021 年度 目標値・実績	2022 年度 目標値・実績	2023 年度 目標値・実績	2024 年度 目標値
期初目標値 (削減率)	Ton	0.831 (実績値△1%)	0.828 (実績値△2%)	0.814 (実績値△3%)	0.820 (実績値△3%)	2022 年度 実績値△2%
総労働時間 比較係数		1.08	1.13	1.08	1.00	—
実際目標値		0.897	0.907	0.879	0.820	
実績値		0.83	0.83	0.83	0.806	
達成率		%	108	109	106	

「2023 年度活動計画の内容」

- ① 事務所等におけるリサイクルを推進する。
  - ・コピー用紙の裏面使用及び両面コピーの徹底
  - ・シュレッタ導入による梱包材の利用
- ② 包装資材、出荷用梱包資材の使用量を削減する。
- ③ 3S 活動を推進する。
- ④ 書類の電子化により保存書類を削減する。

「活動結果の評価」

今年度の目標値に対して約 2% 削減し、目標を達成できました。主な取り組みとしては、一人一人が「ごみを出さない」などの配慮した行動をとり紙使用量の削減、並びに梱包方法の改善として簡易包装・個装箱などの取り組みによって効果が現れたものといえます。今後も継続して廃棄物の削減に取り組めます。



(5) グリーン調達の推進

グリーン購入の推進

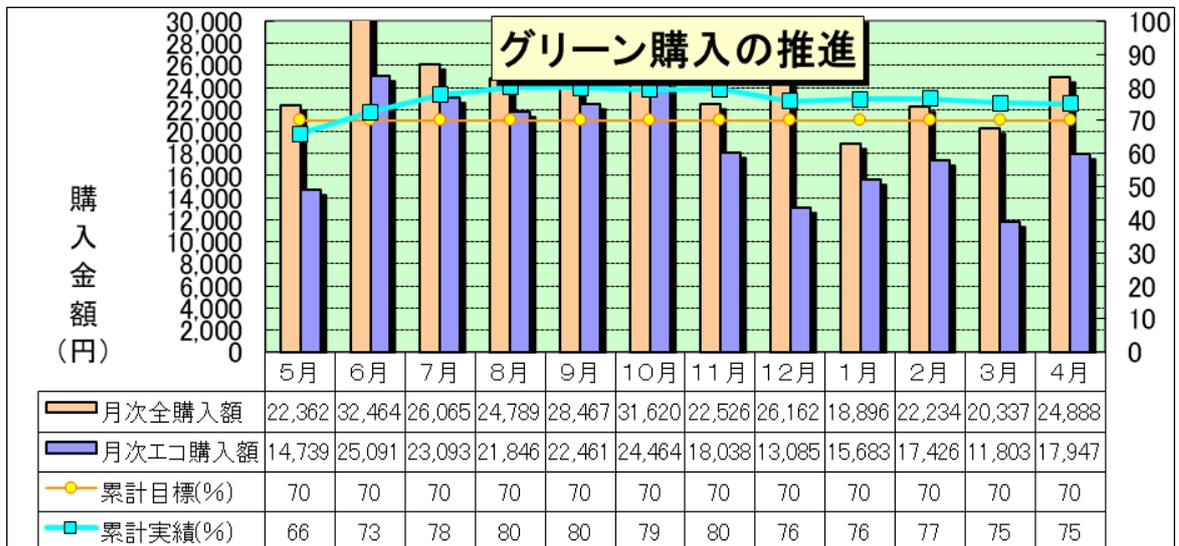
項目	単位	2020 年度 目標値・実績	2021 年度 目標値・実績	2022 年度 目標値・実績	2023 年度 目標値・実績	2024 年度 目標値
期初目標値 (購入比率)	円	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上 維持
実績値		74%	91%	79%	75%	---
達成率	%	105	130	113	107	

「2023 年度活動計画の内容」

- ①エコ商品の優先購入
- ②副資材関係のグリーン購入の推進
- ③事務用品グリーン購入比率の向上

「活動結果の評価」

事務用品のグリーン・エコマーク製品の優先購入の向上に努めてきました。結果、今年度の目標値に対して7%増え、目標を達成しました。事務用品の購入には、看板管理、在庫管理の実施、並びに商品購入時にはエコ商品の確認により優先した購入を徹底しました。



## (6) 製品に関する環境配慮

### 廃棄物の排出抑制

- ・製品の包装材の減量化、収集・運搬の容易性などを図るためプラスチックなどの個装箱を使用して簡易包装の拡大に取り組んでいます。環境に配慮した形態で顧客の要望に沿えるように積極的に行っています。

(改善前) 新聞紙・段ボールなど廃棄物になる梱包材を使用



(改善後) 全ての梱包材をリユースし廃棄物を無くした



(7) 品質管理システムとの一体的活動による不良品の削減

工程内不良率の低減

- ・不良、手直しによる“ムダ”を意識した品質改善活動を行っています。

活動の実績は、以下のとおりです。

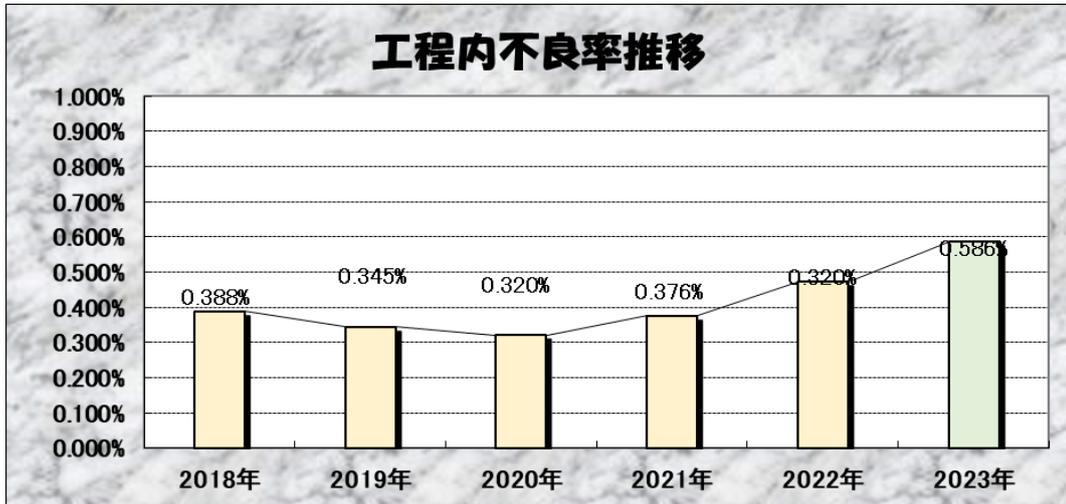
不良などの廃棄物削減やリワークに伴うエネルギーロスの削減など、作業員への意識付けを行い、不良の分析と対策の取り組みによって工程内で発生する不良を減らし、現場改善による効果も得ております。

自動車部品は材料不良の増加と人員の入替により、不良率を押し上げた結果となりました。2024 年度は引き続き作業員教育を中心に不良率低減を目指します。

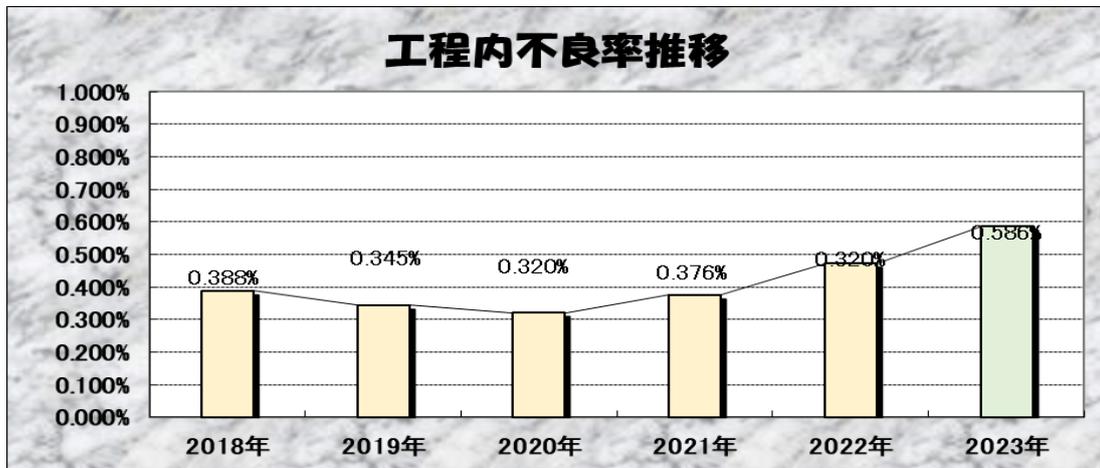
産業機器部品は、工程内検査を強化し、引き続きロットアウトなど大量不良が発生しない為の取組を行います。

自動車部品 : 目標値 0.400% → 実績値 0.586% (目標未達)  
 産業機械部品 : 目標値 0.150% → 実績値 0.246% (目標未達)

『自動車部品の不良率推移』



『産業機械部品の不良率推移』



## ■ 2023 年度の主な環境活動の内容

### 1. 経営方針、部門活動発表会

2024 年 4 月 20 日（土）全社リモートにて経営方針発表会を開催しました。  
西島社長より 2023 年度の経営状況の説明と各部より改善活動の説明がありました。

全社目標：2029 年売上 20 億円を達成する。

（部品加工事業 15 億円 オリジナル事業 5 億円）

- ・改善活動を日常業務に落とし込み効率向上し、改善活動時間を確保する。
- ・管理職の本気度を見せて欲しい。
- ・改善活動では、生産管理課が表彰されました。

内容は「お弁当の管理方法変更」です。（詳しくは 17P）

環境関連の日常活動は以下となります。

#### 「活動概要」

部門名称	環境目的	活動項目	活動概要
営業・事務部門	環境負荷の低減	省エネルギー 紙使用量削減、書類電子化 クールビズ・ウォームビズ推進 グリーン購入の推進	エリア別営業活動の推進 昼食休憩時間の消灯 裏紙使用、両面コピーの推進 事務用品の在庫管理
生産部門	環境負荷の低減 電力使用量削減	省エネ・省エネ設備機器導入 省資源、廃棄物の処理・処分 梱包材の再使用 生産性向上 不良品の発生抑制	照明機器の適所使用 水使用量削減、金属屑回収 加工方法の検討、提案、改善 加工設備の改修、改善 不良品の削減
検査部門	環境負荷の低減	省エネルギー、省資源 不良品の発生抑制	データ類の電子保存 受入検査の検省等による改善
出荷部門	環境負荷の低減 環境配慮、 廃棄物削減	梱包材の省資源 ガソリン使用量削減	梱包の見直し、簡易化 リサイクルの推進 エコドライブ励行、輸送の効率化

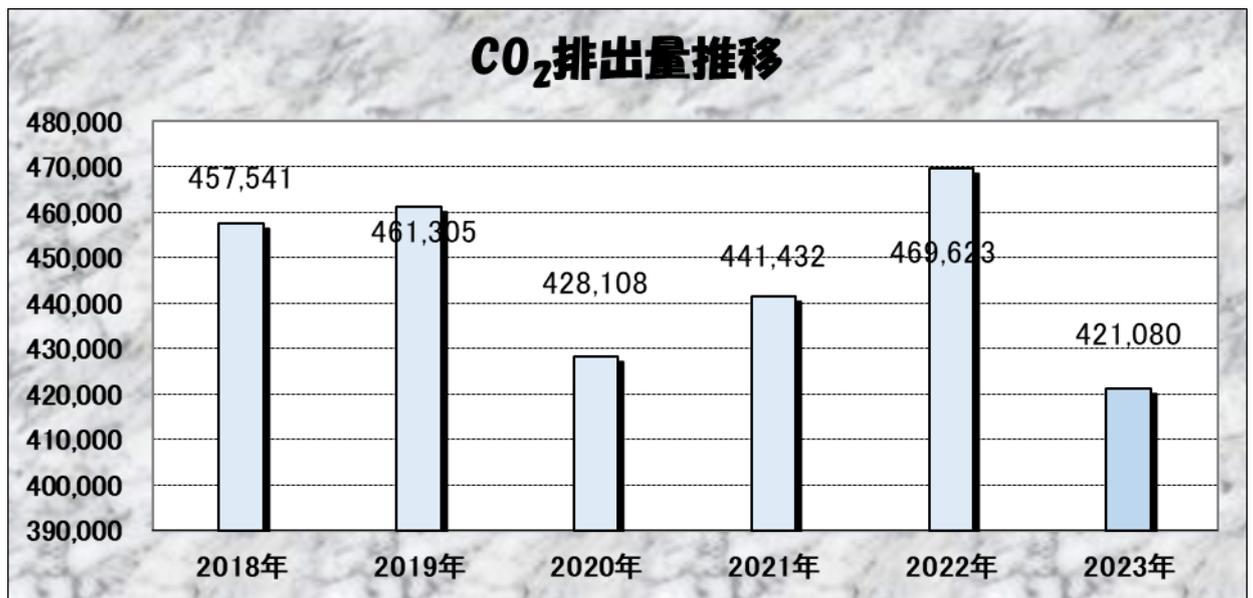
## 2. 今年度の主な活動内容

### (1) CO<sub>2</sub> 排出量の削減

2020 年度から 2023 年度の CO<sub>2</sub> 排出量推移

発生要因	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	CO <sub>2</sub> 係数
電力 (kg-CO <sub>2</sub> )	410,918	438,640	448,463	405,027	0.575
ガソリン (kg-CO <sub>2</sub> )	17,190	10,587	21,160	16,053	2.322
総排出量	428,108	441,432	469,623	421,080	---

備考: 2019~2022 年度、CO<sub>2</sub> 換算係数は 0.514。2024 年度、CO<sub>2</sub> 換算係数は 0.575



※社内加工金額は、事業の継続的な拡大を図りつつも、CO<sub>2</sub> 排出量削減をめざしています。

※夏季のピーク電力の抑制として“デマンド管理”で設備の効率的な使用と使用電力の削減を行いました。



## (2) 現場改善活動

営業から製造までのあらゆる部門でスタッフが自主的に業務効率化を図り、より働きやすい職場環境を推進するべく各種プロジェクト活動を展開しています。

この活動によって、生産リードタイムの短縮や生産品質の向上、省エネルギー、廃棄物の低減など、環境影響の軽減に繋がっております。

生産プロセスで発生する環境負荷を下表に示します。



### 事業活動における 環境側面の抽出

インプット	生産プロセス	環境側面/環境影響	有益な環境側面
「法的規制」 ・RoHS 指令 ・REACH 規則  「原材料」 ・アルミダイカスト ・普通鋼 ・構造用鋼、工具鋼 ・特殊鋼、特殊用途鋼 ・鋳鋼、鋳鉄  「エネルギー」 ・購入電力 ・化石燃料 ガソリン、軽油  「循環資源」 ・紙、新聞紙  「水」 ・用水  「その他物質」 ・刃具、工具類 ・洗浄剤、防錆剤 ・切削油、防錆油  「包装・容器」 ・ビニール袋 ・段ボール ・梱包材(PP バンド他)  「エネルギー」 ・化石燃料 ガソリン、軽油	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">受注</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">工程設計</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">資材調達</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">要員計画</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">機械加工</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">洗浄・組立</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">保管</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">包装・梱包</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">積込</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">運送</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">引渡し</div> </div>	オフィスの環境側面 (紙、ごみ、電気等)  資源の使用 エネルギーの使用  副資材・梱包材の無駄 グリーン購入  人的資源の無駄  電気の使用(事務所・工場) エアーの使用 水・油の使用 チップ、切削剤の使用 不良品の発生  金属くず(有価物) 廃油  梱包剤の使用  ガソリンの使用 排ガスの発生  梱包剤の廃棄	エネルギー使用量の削減 紙使用量の削減  生産工程の時間短縮  廃棄物のリサイクル グリーン購入  グリーン購入の実施  生産工程の省エネルギー化  生産リードタイムの短縮 工程内不良品の削減  金属くず分別・リサイクル化 産業廃棄物リサイクル化  包装・梱包資材の削減  交通機関の利用 エコドライブの推進 輸送効率向上に伴う運行距離 の削減  通い箱による梱包材の削減 梱包材のリサイクル

◇ 現場改善活動について紹介します。!!

**改善事例1. お弁当の管理方法変更**

【成果】・毎朝手書きの集計表を数えて発注していた。

発注カードをタイムカード入れに入れ、お弁当発注カード数で発注。  
集計作業の手間を省き注文ミスも減った。

業務改善 購買：お弁当の管理方法変更。タイムカード前に貼られている表の  
○×を元に集計し毎日発注しているが、休みなど色々な理由により○×が曖昧で  
確認手間が掛かりすぎていた。\*気づき：そもそも確認しない方法はないか。

タイムカードサイズの  
「お弁当発注カード」を  
全社員分ラミネートで作成し運用する。

手間：1日2分程度(数量確認)  
2×60秒×21日×12カ月=¥30,240-  
¥167,400 - ¥30,240 = ¥137,160

年間効果金額¥137,160-

**100**  
**藤原 裕子**  
Fujiwara Yuko  
お弁当  
発注カード

\*\* お弁当カード運用ルール \*\*

①出勤時にお弁当発注カードを  
お弁当発注用に入れてください。

②お弁当とカードをセットにし、  
食べ終わったらタイムカード入に  
自分で戻してください。

\*昼食時にお弁当カードが無い人は  
食べる事ができません。



**決定!! 2023年度改善社長賞!!**

Nó đã được quyết định! Giải thưởng thành tích xuất sắc!  
(SYACHOUSYOU)

2023年度の社長賞に輝いたのは、生管購買総務部の  
「お弁当の管理方法変更」でした!

Kế hoạch cải tiến của SEIKANKOUBAI  
là người chiến thắng

評価のポイント Đó là điểm tốt

- ・主体的な発案がある事なので、気を遣う内容のものにもかかわらず、部  
内で見えない負担がなくなっているお弁当の管理にスポットが当たったこと
- ・自部門だけの内容ではなく、全社的な運用方法の変更であったこと
- ・ Đó là một công việc khó khăn có liên quan đến tiền bạc.
- ・ Đó là một hoạt động cải tiến trên toàn công ty.

賞金 100,000 円

同僚部員 喜びの声  
「お弁当の管理方法変更」は、日々の業務に大変お役に立っています。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。

社長さん 喜びの声  
「お弁当の管理方法変更」は、日々の業務に大変お役に立っています。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。お弁当の管理が楽になり、お弁当のロスも減りました。

**改善事例2 検査台レイアウト変更による作業時間短縮(自動車部門)**

【成果】・検査台のレイアウト変更により1日の移動時間が788秒短縮された。

部門	生産部自動車	テーマ	検査台のレイアウト変更による作業時間の短縮		
担当/立案	日高 / 南	期間	1月8日	～	4月26日

**改善前**

現状、移動時間内訳(ライン毎の検査台までの移動時間)  
R2・R3ラインの移動時間が  
長くW2・W3ラインは検査頻度が  
多い為、移動時間が短く設定されている。

改善前			
工程	1回/秒	測定回数	計/秒
R1	27	7	189
R2	42	5	210
R3	42	5	210
W1	14	10	140
W2	7	10	70
W3	8	9	72
W4	29	10	290
計	169	56	1181

1日移動時間：1181秒×21日×12カ月=¥297,612-  
\*1秒1円計算

年間移動時間費用 **¥297,612**

**改善後**

改善後の移動時間内訳(ライン毎の検査台までの移動時間)  
全体的にバランスを考えて  
レイアウト変更する事で  
トータルタイムを短縮する事が出来た。

改善後			
工程	時間/秒	測定回数	計/秒
R1	13	7	91
R2	25	5	125
R3	25	5	125
W1	21	10	210
W2	8	10	80
W3	13	9	117
W4	4	10	40
計	109	56	788

1日移動時間：788秒×21日×12カ月=¥198,576-  
¥297,612(改善前) - ¥198,576(改善後)

年間効果金額 **¥99,036**



### (3) コミュニケーション活動

#### ◇大型液晶ディスプレイの活用による情報発信

1F/2F 工場・2F 事務所・食堂に大型液晶ディスプレイを設置しました。  
エネルギー使用量など環境データ・工程内品質不良などの品質データを適時  
表示し、啓蒙活動を進めています。



#### ◇お客様とのコミュニケーション（品質保証部）

ZOOM などリモート会議システムを活用し、フリージョイントの品質監査を  
リモートで実施しました。お客様・中農製作所・NakanoPrecision(ベトナム)  
の3元中継で実施しました。

現場の監査はスマートフォンでカメラ中継し、臨場感ある監査が出来ました。  
ベトナムへの出張なしに監査を行い、経費とエネルギーの削減が出来ました。

現場紹介 VTR を作成し事前に見て頂く事で、確認したい現場のポイントを絞って  
監査を実施する事が出来ました。



## ■ 2023 年度の環境活動の取り組み結果及び評価

### 「総評」

2023 年度は、2022 年度の実績値に対して 1%削減を目標に取り組みました。活動テーマの達成率は、電力使用量削減は 17%減、ガソリン使用量削減は 22%減、水使用量削減は 1%増、一般廃棄物削減は 2%減、グリーン購入の推進は 7%増、すべての項目で目標値を達成しました。

その他の取り組みとして、「製品における環境配慮」については簡易包装を他の受注製品にも適用し、拡大に取り組みました。

全社で改善活動を作業効率目標に推進しており、各部門で成果が出ています。来期も継続していきます。

さらに、品質活動の「工程内不良率の削減」については、前年値比で自動車部品産業機械部品とも増加しました。両部門とも目標値では未達の為、更に削減に向け原因分析の検討から改善策に取り組む必要があります。

また、現場作業改善として工程内小型洗浄機、穴あけ機、面取り機、組立機など種々の設備開発を進め、環境負荷軽減に努めていきます。

### 「代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果」

2023 年度の総製品販売量は、1,025 百万円の 26%減と前年実績を下回りました。今年度は、半導体関連在庫調整により受注が下がり産業機器の売り上げが伸び悩みました。来期は、半導体関連の在庫調整も終わり需要増が予想されますが、回復時期がまだまだ不透明です。

円安による物価高が続く中、企業の経営環境はさらに厳しい状況が継続するものと予想されます。

環境活動の結果においては、電力使用量、ガソリン使用量、一般廃棄物排出量の、目標値をクリアし、総合的に判断して、省エネ、経費節減に全社員が意識を高めて進めてきたものと評価します。今後も環境に配慮した取り組みを社員全員が展開し、環境目標を必ず達成できるように、積極的に推進していく所存です。ご支援よろしくお願いたします。

## ■ 2024年度 環境活動計画

### 主要な環境活動の内容

#### 1. エネルギー使用量の削減について

##### (1) 電力使用量の削減

- 実施策；①夏季ピーク時の使用電力を抑制する。  
②クールビズを励行する。  
③作業改善、業務改善を推進する。

##### (2) ガソリン使用量の削減

- 実施策；①輸送距離を短縮する。  
②配送ルート効率化する。  
③エリア別営業活動の見直し

#### 2. 水資源の削減について

- 実施策；①節水活動

#### 3. 廃棄物の削減と有効利用について

- 実施策；①事務所等におけるリサイクルを推進する。  
②包装、出荷用梱包材を削減する。  
③3S活動を推進する。

#### 4. その他の取り組みについて

- 実施策；①グリーン購入を推進する。  
・省エネ性能の高い製品を購入する。  
・事務用品グリーン購入比率の向上  
②製品に関する環境配慮  
・製品包装、梱包の最適化、省包装の推進  
③工程内の製品不良を削減する。  
④E A 2 1 啓発活動の推進

## ■ 環境関連法規制等への違反、訴訟等の有無

(1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は以下のとおりです。

適用される法規制等	該当する施設等
騒音規制法、振動規制法	空気圧縮機、空調機、工作機械
消防法	機械油、洗浄液などの保管
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（含水廃油）
浄化槽法	浄化槽
フロン排出抑制法	業務用エアコン
顧客要求事項（RoHS指令等）	納入製品（表面処理含む）

(2) 環境関連法規制等の遵守状況

当活動期間に環境関連法規制等の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘並びにステークホルダーからの訴訟や苦情等は過去3年間1件もありませんでした。また、顧客からの要求事項についても苦情等はありませんでした。

## ■代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

[様式：12-01-改1]

発行 2024年 5月 31日			
環境経営マネジメント・レビュー記録		社長	
(代表者による全体の評価と見直し記録)			
見直しに必要な情報	社長による見直し	対象部門	期限
(環境管理責任者の報告及び改善への提案)	(変更の必要性の有無・指示内容)		
<p><b>[環境経営方針、目標、活動計画の達成状況]</b></p> <p>2023年度目標値は、2022年度の実績値を基準年(値)として電力、ガソリン、水道水及び廃棄物の削減率を△1%とした。 2023年度の活動結果は以下のとおりです。 (活動期間:2023年5月～2024年4月末迄)</p> <p><b>目標を達成した項目</b> (増減率)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力使用量の削減…………… 17%減 (達成) 累計目標: 848,425kWh → 実績: 704,395kWh</li> <li>・ガソリン使用量の削減……… 22%減 (達成) 累計目標: 9,023L → 実績: 6,555L</li> <li>・水道水の節減…………… 1%増 (未達) 累計目標: 757L → 実績: 767L</li> <li>・一般廃棄物の削減…………… 2%減 (達成) 累計目標: 0.820t → 実績: 0.806t</li> <li>・エコ商品の優先購入……… 5%増 (達成) 累計目標: 70%以上 → 実績: 75%</li> </ul> <p><b>目標を未達成の項目</b></p> <p>水道水に関しては、目標に対し1%(10L)増になり未達成。</p> <p>(参照資料①:2023年度環境活動実施計画書)</p> <p>「考察」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水の使用量は、2020年920㎡をピークに767㎡まで下がっています。人員は2020年66人に対し71名と増加しており生活水としての削減は困難と考えます。節水の啓蒙活動は継続します。</li> </ul>	<p><b>環境経営方針・環境目標</b></p> <p>変更の必要性: 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>指示内容:</p> <p>1.2023年度目標は、2022年度実績値の1%削減に取り組む。</p>	管理 責任者	次年度 計画 (23.06)
	<p><b>環境活動計画</b></p> <p>変更の必要性: 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>指示内容:</p> <p>1.部門間の連携で効率的に取組を進める。</p>	各部門	次年度 計画 (23.06)

<p><b>[環境経営システムの実施状況]</b></p> <p><b>1.電力使用量の削減</b>      今年度使用量は、基準年度実績より約 17%減少した。取り組みとしては、工場レイアウトの変更、製造プロセスの見直し、コンプレッサーの更新などによって効果があったと思われる。      背景として、生産量の減少に伴い、エネルギー消費量は減少の傾向にあった。総売上高は基準年度比で約 15%減少したため、社内でのエネルギー使用量も減少した。</p> <p>基準年度対比：      ・2022 年 4 月期 855,995kWh      ・2023 年 4 月期 704,395kWh      年度目標値に対して電力量で収まった。</p> <p><b>2.ガソリン使用量の削減</b>      今年度使用量は、基準年度実績より約 22%減少した。発送ルートの効率化、自動車利用の抑制、配送の固定化などの取り組みによって削減を図った。      売上減少による、営業活動の効率化によるガソリン使用料の低減も大きく寄与した。</p> <p>基準年度対比：      ・2022 年 4 月期 9,114L      ・2023 年 4 月期 6,555L      年度目標値に対して約 22%削減した。</p> <p><b>3.水道使用量の削減</b>      今年度使用量は、基準年度実績より約 1%増加した。2022 年度実績に対しほぼ横ばいで推移している。ハードによる節水対策はほぼ完了したため、日常での節水活動を継続する。</p> <p>基準年度対比：      ・2022 年 4 月期 765L      ・2023 年 4 月期 767L      年度目標値に対して約 1%増加した。</p> <p><b>4.一般廃棄物の削減</b>      事務部門での事務帳票類のペーパーレス、コピー用紙の低減、梱包材の再利用と過剰梱包抑制等に取り組みました。      年度目標値に対して約 2%削減した。</p> <p><b>5.グリーン購入の推進</b>      事務用品等のグリーン購入はデータをもとに安定した成果(70%→77%)が出ている。      部品・材料調達、購買品調達においても推進する。</p>	<p><b>環境経営システム</b>      変更の必要性： 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/></p> <p>指示内容：</p> <p><b>1. 品質システムとの一体的活動を推進する。(工程不良の削減)</b></p>	<p>各部門</p>	<p>次年度計画 (24.06)</p>
<p>添付資料:2023 年度 環境活動実施計画書</p>			

<p>[前回までの指示事項への対応結果]</p> <p>◆<b>環境方針・環境目標</b>      ・2024 年度の環境目標を策定した。      2022 年度の実績値を基準として環境負荷を 2% 削減する。</p> <p>◆<b>環境改善計画</b>      ・「改善活動」を推進する。      部門間連携で「CS向上」に努める。</p> <p>◆<b>環境経営システム</b>      ・品質との一体的活動を推進する。      (加工不良の低減で環境負荷を削減)      工程内不良の削減(不良率実績)      ・産機:目標 0.150% →実績 0.246%(×)      ・WS:目標 0.20% →実績 0.338%(×)      ・RT:目標 0.60% →実績 1.051%(×)</p>	<p>追加指示:SCOP3 について、課題の整理を実施し 2024 年度内にプロジェクトチームを結成し、2025 年度に調査を開始する。</p> <p>自動車 WS・RT の不良低減のための改善活動を開始する事。</p>		<p>経営目標実績 (24.05)</p>
<p>[環境関連法規制等の遵守状況]      ・法規制等登録簿に登録された法規制は、確実に遵守しています。</p>			
<p>[問題点の是正状況]      ・2023.05.01 から現在までの期間に、対応すべき問題はあります。</p>			
<p>[法規制、社会情勢、周辺機器等の状況変化]      ・特にありません。</p>			
<p>[利害関係者の苦情、要望事項]      ・2023.05.01 から現在までの期間に、近隣、周辺住民からの苦情に関する問合せはありません。</p>			
<p>[その他の事項]      ・特にありません。</p>			

- ◆ 今後も“持続可能な社会”の構築に向け様々なテーマに取り組んで参りたいと、考えております。 お客様をはじめ、関係の皆様のご理解とご指導・ご支援を心からお願い申し上げます。